



2023年7月3日

各 位

会社名 大同信号株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤 盛三
(コード番号: 6743 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員財務統括部長 山田 喜嗣
(TEL. 03-3438-4111)

中期経営計画の進捗に関するお知らせ

2021年度に公表した、2021年度から2023年度を対象期間とする3ヶ年経営計画「PLAN2023」についてその進捗を公表いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては添付資料をご参照ください。

なお、当該資料につきましては当社コーポレートサイト (<https://www.daido-signal.co.jp/>) にも掲載しておりますので、併せてご覧ください。

以 上

PLAN2023

中期経営計画「PLAN2023」
(2021年度～2023年度)

2022年度の進捗と2023年度の見通し

■ 連結業績ハイライト ■

■ 連結経営成績

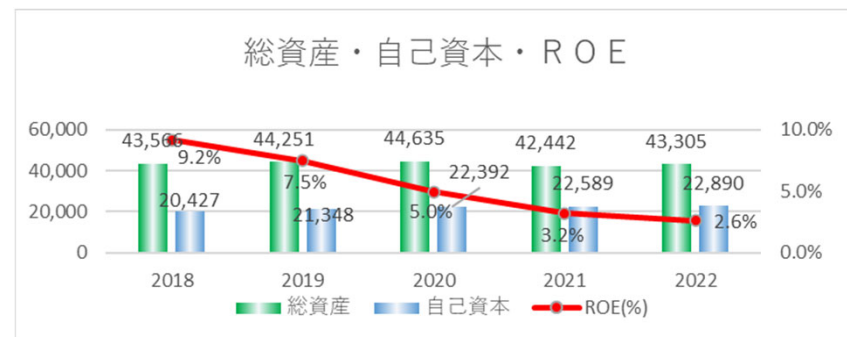
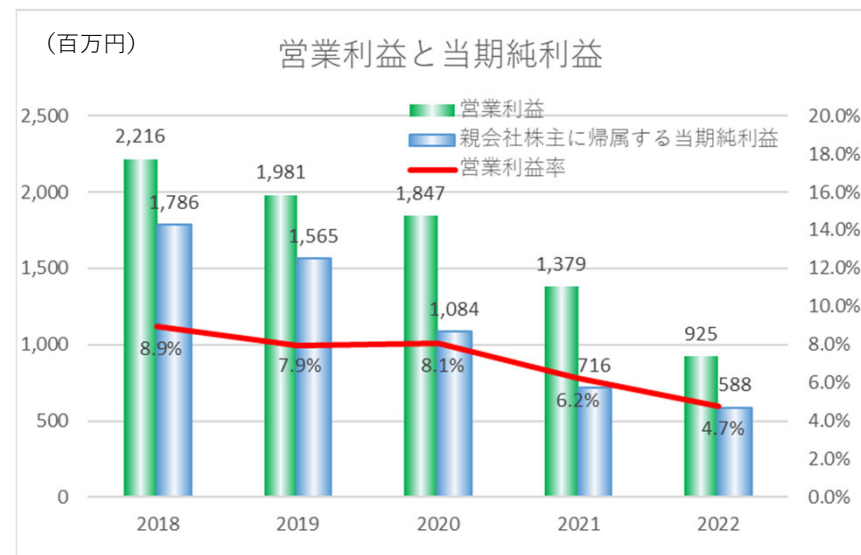
(単位：百万円)	2021年度	2022年度	増減	前期比
売上高	22,171	19,496	▲ 2,675	▲12.1%
売上原価	16,515	14,484	▲ 2,031	▲12.3%
販管費	4,276	4,087	▲ 189	▲4.4%
営業利益	1,379	925	▲ 454	▲32.9%
営業外損益	81	85	4	4.9%
経常利益	1,460	1,009	▲ 451	▲30.9%
特別損益	▲ 126	▲ 14	112	▲88.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	716	588	▲ 128	▲17.9%

2022年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による売上時期の延期や新規発注の見送り、部品入手が困難な状況による生産の停滞により売上は大幅に減少しました。

一方、適用2年目となった「収益認識に関する会計基準」の定着や品質向上策の浸透、経費削減努力により営業利益は計画を上回りました。

■ 財務状況

(単位：百万円)	2021年度	2022年度	増減	前期比
総資産	42,442	43,305	863	2.0%
自己資本	22,589	22,890	301	1.3%
自己資本比率(%)	53.2%	52.9%	▲0.3pt	▲0.6%
ROE(%)	3.2%	2.6%	▲0.6pt	▲18.8%



■ 中期経営計画「PLAN2023」の進捗 ■

■ 成果

<p>売上と利益の確保</p> <p>ビジネス基盤の拡大</p> <p>経営基盤の強化</p> <p>人間中心企業</p>	<p>【主な成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道情報管理ソリューションのサービス開始（「DeEYES」として商標登録済み） ・ 列車検知装置（SMETⅢ形）60Hz交流タイプの販売開始 ・ LINEスタンプ及びアクリルスタンドの販売開始 ・ リアル展示会の開催期間にあわせたオンライン展示会の開催（実際に展示会に出展した製品群を中心にコンテンツをネットで配信） ・ 「軌道回路の再生と新しい信号制御方式の提案」等論文提出により博士号取得
---	--



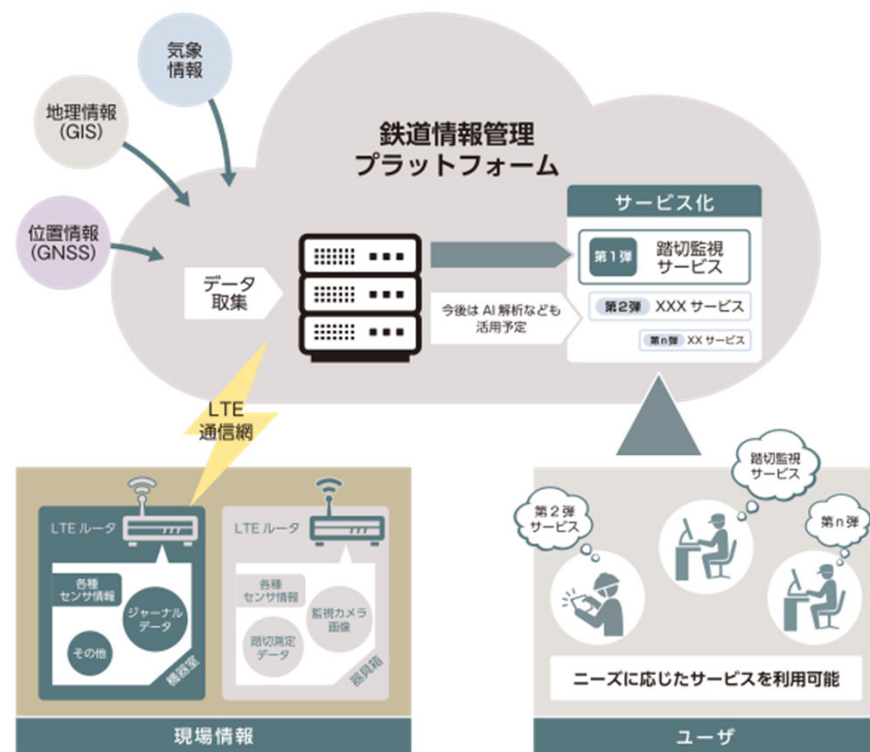
LINEスタンプ／
アクリルスタンド



列車検知装置（SMETⅢ形）
60Hz交流タイプ



■ 新製品・サービスのご紹介



鉄道情報管理ソリューション
（概念図）

2023年度の見通し

「PLAN2023」の達成に向けて

■ 売上と利益の確保 ■

- ①国内市場の維持と拡大
- ②時代のニーズにマッチした信号製品の販売戦略の確立
- ③戦略製品に対する抜本的な原価低減 …【NEW】
- ④生産・販売体制の改革

■ ビジネス基盤の拡大 ■

- ⑤自社グループ保有技術を生かした新ビジネス展開
- ⑥ロードマップに基づく戦略的な技術開発推進 …【NEW】
- ⑦今後の国内外市場を視野に入れた規格標準化の推進

■ 経営基盤の強化 ■

- ⑧戦略的財務施策
- ⑨施策を支える人事戦略

■ グループで目指すサステナブル経営 ■ 「人間中心企業」からテーマを発展

- ⑩シナジー効果によるグループ総合力の向上 …【NEW】
- ⑪ESG経営の推進 ~ 環境・社会貢献・ガバナンスを意識した企業経営

■ 数値計画

(単位：百万円)

	PLAN2023 公表値	2023年度 計画	増減	増減率
売上高	23,000	22,000	▲1,000	▲4.3%
営業利益	1,600	1,100	▲500	▲31.3%
経常利益	1,700	1,200	▲500	▲29.4%

2023年度は、新型コロナの終息により受注環境の好転が予想されるものの、引続き部品入手が困難な状況が続く見込みです。また、新型コロナの影響が当初見込みより長期にわたったことで、この期間中に見込んでいた大型システム案件の受注の延期となるなど、売上は2021年5月に公表した「PLAN2023」の計画値を下回る見込みです。なお、2023年度はこれらのシステム案件の受注も復調となり、新たな大型案件も控えているほか、部品の入手状況も徐々に改善されると考えており、これらの需要を着実に取込み計画の達成を目指すとともに、引き続き経営基盤の強化に取組み、利益確保に努めてまいります。